

週報

2012年題 「主を仰いで進もう」

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。
あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒れ野に道を敷き /
砂漠に大河を流れさせる。 イザヤ43:19



東福山福音ルーテル教会

〒721-0913 福山市幕山台8-13-10

責任牧師 佃 博文 Tel(Fax) : 086-273-9053

宣教師 L.シグルソン Tel(Fax) : 084-947-6602

URL <http://fukuyama.sekl.fi>

週報編集担当 Mail fukuyamachurch@hotmail.com

今週の集会案内

5/8 (火)	シャローム練習	AM	10:00
	オカリナ講座	PM	1:00
	ハンナゴスペル	PM	7:00
5/9 (水)	聖研祈禱会	PM	7:30 (エフェソ 1章)
5/11 (金)	ハンナゴスペル	AM	10:30
5/12 (土)	備後イースター・F	PM	2:00
	リーデン・ローズ(開場)		PM1:30
5/13 (日)	ジーラブ	AM	9:00
	聖日礼拝	AM	10:30

2012/5/6 礼拝式	
復活後第4主日	
司 会：小林秀穂 兄 奏 楽：青戸生恵 姉	
礼拝当番：青戸尚美 姉	
前 奏 讃 美 (起立) 交 読 文 (起立)	5月の歌「聖歌521# 「キリストにはかえられません」 交読文：詩篇27篇 (最終節は一同) (旧 P. 857) : 新共同訳聖書を1節ずつ交読
祈 禱 讃 美 使徒信条 (起立) 聖書朗読 讃 美 (起立) 説 教	5 6 ヨハネ3：18～24 新約(P.444) 3 5 4 ヨハネ 15：1～11 新約(P.198) 「真の弟子とは」 L.シグルソン師
聖 餐 式 讃 美 感謝献金	3 1 2 青戸尚美姉
祝 禱 報 告	5 4 1
特別予定	
聖書のページ数の表示は新共同訳。(新改訳は表示より5～6ページ前になる) 新共同訳聖書をお持ちでない方は、教会に備え付けのものがあります。	

ジーラブ司会：青戸尚美姉 説教：青戸 望姉

==主の祈り==

天にまします我らの父よ。

願わくは御名をあげさせたまえ。御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもならせたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯すものを、我らが許すごとく、

我らの罪をも許したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなり。

== 使徒信条 ==

我は天地の創り主、父なる全能の神を信ず。
我はそのひとり子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、乙女マリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに
苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、よみにくだり、三日目によみがえり、天に昇り、父なる全能の神の右に座したまえり。
生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再び来たりたまわん。
我は聖霊を信ず。また聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪の赦し、身体のみみがえり、限りなき生命を信ず。アーメン。

先週の献金報告 4月29日

礼拝献金	6,830	光熱費	8,000
維持献金	27,000	その他	30,000
特別事業	5,000	総額	76,830

先週の集会報告 4月29日週

- 4/29 聖日礼拝 大人 13名 小人 4名
5/1 シャローム 練習日 8名
ハンナ・ゴスペル 12名
5/2 聖研祈禱会 1名
5/3 引野町・「ベストライフ」慰問演奏 2名
5/4 ハンナ・ゴスペル 12名

次週の礼拝案内 5月 13日(日)

交読文：詩篇23篇
賛美歌 5月の歌(聖歌521#：キリストには変えられません)、
11、225、527、541
聖書 ヨハネ4：1～12
ヨハネ 15：11～17
「……」 小堀幹雄長老(東岡山教会)
詳細については、連絡が取れない為不明

次週の礼拝当番 5月 13日(日)

説教：小堀幹雄長老(東岡山教会)
司会：渡辺章子 姉 奏楽：荒井千恵子 姉
礼拝当番：赤木久敬兄 清掃：シグルソン活子姉、青戸尚美姉
ジューブ司会：渡辺章子姉 ジューブ説教：青戸尚美 姉
5月の週報担当：小林秀穂 兄

【報告】

5/12(土) 備後イースターフェスティバルがあります。
日時：5月12日(土) 2時～ 場所：リーデンローズ 小ホール
講師：藤井圭子師 前売り券発売中・詳しくはチラシをご覧ください。

Column 【祈りの贈り物】 No.354

アイスランドのヨーン・スウェンソン(1857-1944)は「今アンデルセン」と言われた童話作家で、わが国にも、「メンニの大航海」等の名作が訳され、よく知られている。彼は幼い頃より非常な読書家であった。読んだ中で一番彼の心をひいたものは、方々の国の事を美しい絵入りで書いた本であった。彼は、それらの国々に非常に憧れをいだき始め、何とかして一度行ってみたいと思った。

母に相談すると「あなたが本当にその美しい国々を見たいなら、毎日神様にお祈りしなさい」と教えられた。

彼はそれ以来、このために一生懸命に祈った。二年半も祈り続けた。

ついにきかれる時がやって来た。

南フランスのアブイニオンの貴族フォレストが大のアイスランドびいきで、次の4条件にかなうアイスランドの少年二人を引受けて教育してみようと思いついて、その旨政府に行ってきた。

その条件と言うのは、第一に体の丈夫なこと、第二に賢いこと、第三に悪癖のないこと、第四に良い血統であることであった。

スウェンソンはこの選に入った。

彼は、大変喜んだが、まだ12歳の彼にとって、国を離れ母と別れる事は、大変寂しい辛い事であった。母は、彼が渡航する時、「私は何も他の事は申しません。ただひとつ贈り物をします。それは、朝晩一日に2回、5分で良いから祈ることです」と諭した。

彼は終生、この母の贈り物、祈りを続けて怠らなかつた。

キリスト教逸話例話集 高野勝夫編著 神戸キリスト教書店出版より引用
アイスランドは一人の傑出した作家を生んで世界の子どもに知られている。ヨーン・スウェンソン(1857～1944)は、「ノンニ」(1913)「ノンニとマンニ」(1914)太陽の日々アイスランドでのノンニの若き日」(1915)「ノンニはどのようにして幸福を見出したか」(1934)など数多くの「ノンニ」シリーズを発表して有名になった。

アイスランドの自然を舞台にくりひろげられるノンニ少年の生活と数かずの冒険は、環境のめづらしさ、美しさと、素直でおおしい少年の姿とがたくみにまざりあって、今もなお読者をひきつけてはなさない。

『世界児童文学案内』(神宮輝夫 理論社 1963)より